

## 第87期 中間期

# 株主・投資家の皆さまへ

2024年4月1日 — 2024年9月30日

### 特集1

暮らしの中のアマダ  
オフィス編

### 特集2

アマダを知るVol.19  
社外取締役インタビュー

株主さまQ&A

社長に聞く

個人投資家向けIRについて



ごあいさつ

アマダグループは創業以来、お客さまへの商品の販売からメンテナンスサービスまでを自ら手掛ける「直販・直サービス体制」を敷いてきました。これにより、お客さまの課題を迅速に解決するだけでなく、そこで得たご要望を新たな商品・サービスの開発につなげています。この積み重ねこそがアマダグループの力の源泉となっています。私たちはこれからも「創造」と「挑戦」を重ね、世界のモノづくりを支える唯一無二の「金属加工機械のグローバルメーカー」を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長  
磯部 任

代表取締役社長執行役員  
山梨 貴昭

グループ一丸となり、成長戦略を着実に実行していきます。

当中間期の概況について

当社グループを取り巻く経済環境は、欧米での金利の高止まりやウクライナ問題の長期化、中東情勢の緊迫化などの地政学リスクの高まりから、依然として先行き不透明な状況が続いています。そのような中、当中間期の経営成績は、7-9月期において受注残を着実に売上へ転化したことで売上が伸長しましたが、4-6月期の減収を補えなかったことから、売上収益は1,845億円(前年同期比1.3%減)となりました。国内の売上収益は、輸送機器関連やOA・コンピュータ、半導体製造装置向け等の販売が堅調に推移しましたが、配電盤・制御盤関連等が軟調に推移したことで、680億円(前年同期比1.2%減)となりました。

また、海外の売上収益は1,165億円(同1.4%減)となりました。北米では、米国でデータセンターの増設を背景に通信機器関連向けの売上が増加し、カナダでは農業用機械や精密機器関連の販売が堅調に推移しました。欧州では、ドイツで建設関連や産業・工作機械関連向けを中心に需要が低迷した一方で、英国では産業・工作機械関連や航空宇宙関連が堅調に推移しました。アジア他では、インドやマレーシアが好調に推移したものの、中国は業種を問わず全体的に軟調な状況が続きました。事業別の売上収益は、金属加工機械事業は1,519億円(前年同期比1.8%減)、金属工作機械事業は319億円(同1.0%増)となりました。損益面につきましては、販売価格の改善による増益

2025年3月期連結決算ハイライト	前中間期	当中間期	前年同期比	前期	通期(予想)	前期比(予想)
売上収益	1,870億円	1,845億円	1.3%減↓	4,035億円	4,050億円	0.4%増↑
営業利益	272億円	231億円	15.0%減↓	565億円	530億円	6.2%減↓
親会社の所有者に帰属する中間(当期)利益	197億円	151億円	23.5%減↓	406億円	360億円	11.4%減↓

効果があったものの、生産調整に伴う操業度の低下や固定費の増加等により、営業利益は231億円(前年同期比15.0%減)、親会社の所有者に帰属する中間利益は151億円(同23.5%減)となりました。

通期業績の見通しについて

当中間期までの業績および下期の受注予測を勘案した結果、当初想定を下回る見込みであると判断し、2024年5月14日に公表した通期予想を下方修正しました。修正後の予想は、売上収益4,050億円(前期比0.4%増)、営業利益530億円(同6.2%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益360億円(同11.4%減)を見込んでいます。

中期経営計画2025について

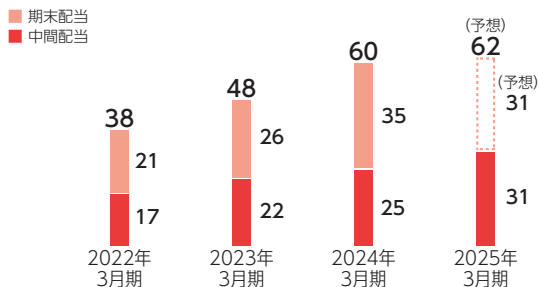
当社グループは、2030年に目指す姿として「長期ビジョン2030」を掲げ、持続的な成長と企業価値向上に向けた具体的なアクションプランとして2023年5月に2025年度までの3カ年計画「中期経営計画2025」を策定し、公表しました。この中期経営計画では、①売上収益4,000億円の必達と収益性の改善、

②長期成長戦略への活動開始、③資本政策(株主還元)の実施、④ESG経営・体制強化の4つの基本戦略方針を策定し、これに基づき全社一丸となって取り組んでいます。

株主の皆さまへ

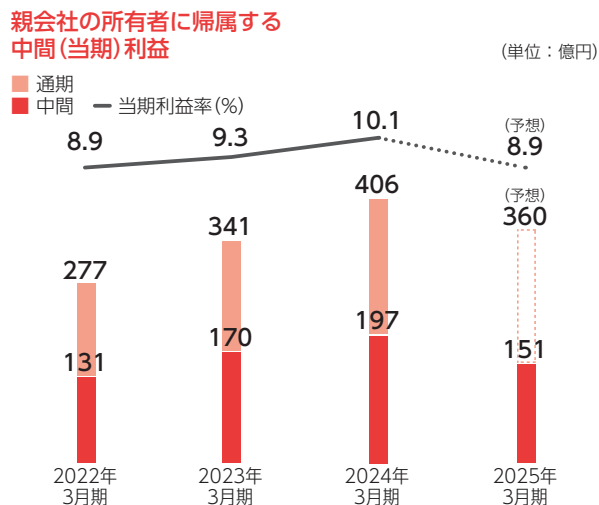
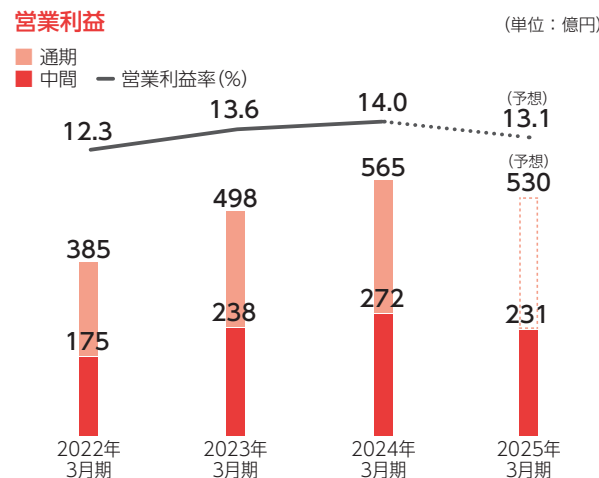
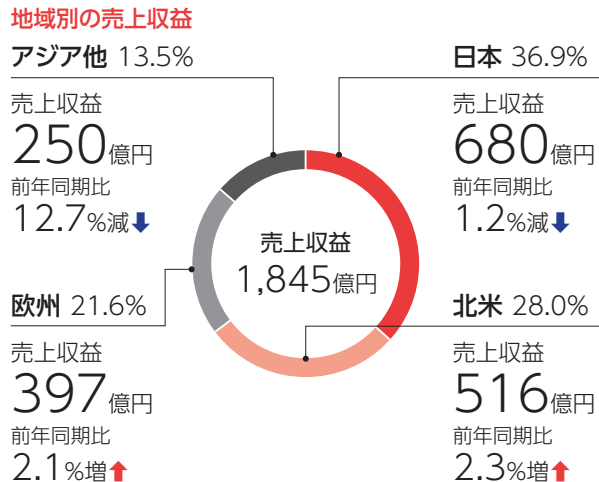
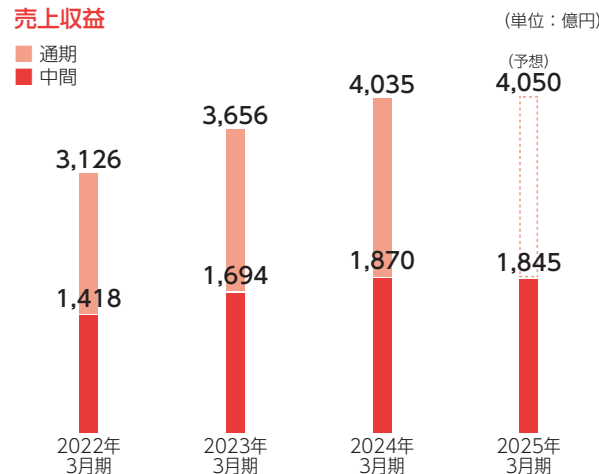
当社の株主還元の基本方針は、配当性向50%を目安に株主資本配当率(DOE)3%~4%程度の範囲内で配当額を決定し、自己株式の取得に関しましては、キャッシュ・フローの状況等を考慮したうえで、継続的かつ段階的に実施することとしています。当中間期の配当は、上記方針に基づき1株につき31円とさせていただきます。期末配当予想につきましては、当初の予想額と変わらず31円とさせていただくことで、年間配当は前年比2円増配となる62円を見込んでいます。

配当金の推移(単位:円)



連結業績の推移

**当中間期のポイント** 売上収益は前年同期に次ぐ過去2番目の水準。国内は7-9月期の売上が伸長。海外は為替の影響等もあり北米・欧州で過去最高を更新。一方、利益は減収や生産調整による操業度低下を受けて減益となりました。



連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前期末 2024年3月31日現在	当中間期末 2024年9月30日現在
<b>資産</b>		
流動資産	429,309	410,562
非流動資産	251,743	244,669
有形固定資産	183,700	178,310
無形資産	12,610	12,779
その他	55,432	53,577
資産合計	681,053	655,231
<b>負債</b>		
流動負債	128,346	112,677
非流動負債	18,310	18,144
負債合計	146,656	130,822
<b>資本</b>		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	120,536	120,536
利益剰余金	311,076	314,857
自己株式	△8,760	△17,152
その他の資本の構成要素	52,039	46,888
親会社の所有者に帰属する持分合計	529,661	519,898
非支配持分	4,735	4,510
資本合計	534,396	524,409
負債及び資本合計	681,053	655,231

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	当中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日
売上収益	187,051	184,533
売上原価	△103,574	△103,438
売上総利益	83,477	81,095
販売費及び一般管理費	△56,477	△58,214
その他の収益	667	748
その他の費用	△394	△457
営業利益	27,272	23,171
金融収益	4,537	1,123
金融費用	△3,519	△2,381
持分法による投資利益	139	127
税引前中間利益	28,430	22,040
法人所得税費用	△8,568	△6,800
中間利益	19,862	15,240
中間利益の帰属		
親会社の所有者	19,759	15,112
非支配持分	102	127
中間利益	19,862	15,240

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	当中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,494	15,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,259	1,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,441	△17,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	△121	366
現金及び現金同等物の増減額	△15,328	374
現金及び現金同等物の期首残高	98,556	93,420
現金及び現金同等物の中間期末残高	83,228	93,795

金属加工機械事業 82.3%

板金部門 微細溶接部門

売上収益 1,519 億円  
前年同期比 1.8%減↓

当中間期のポイント

- 板金部門は、北米・欧州において政府政策の後押しや底堅い設備投資需要を受けて増収となりましたが、アジア他が軟調に推移しました。
- 微細溶接部門は、北米で車載電池関連が売上に寄与し、国内でも7-9月期において電子部品やモーター関連で回復の兆しが見られました。



金属工作機械事業 17.3%

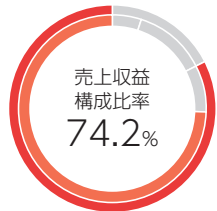
切削・研削盤部門 プレス部門

売上収益 319 億円  
前年同期比 1.0%増↑

当中間期のポイント

- 切削・研削盤部門は、欧州を中心に自動車関連の需要が低調に推移しましたが、国内ではインフラの更新需要を取り込み、増収となりました。
- プレス部門は、中国でEV用バッテリー関連向けの販売が売上に寄与しましたが、国内では自動車関連の低迷が影響し減収となりました。

板金部門

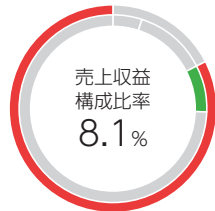


売上収益 1,368 億円  
前年同期比 1.8%減↓



金属板に穴をあけたり、切断や折り曲げ等を行うマシンを扱っており、複数の加工を行う複合機や自動化の提案も行っていきます。

微細溶接部門

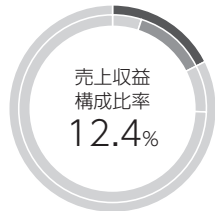


売上収益 150 億円  
前年同期比 2.2%減↓



金属同士を溶接するマシンを扱っており、レーザーを用いた微細溶接をはじめ、電気抵抗を利用した精密抵抗溶接にも対応しています。

切削・研削盤部門

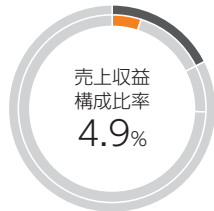


売上収益 229 億円  
前年同期比 4.1%増↑



金属の塊を切断したり、穴あけを行うマシンや金属の表面を削ってきれいに仕上げるマシンを扱っており、素材に応じた様々な加工を高精度で行うことができます。

プレス部門



売上収益 90 億円  
前年同期比 6.2%減↓



金属板に圧力をかけて成形するマシンを扱っており、複数のマシンと搬送ロボットを組み合わせた自動化システムの提案も行っていきます。

暮らしの中の  
アマダ

オフィス編

私たちアマダグループは金属加工機械の総合メーカーです。当社がお客さまに提供する金属加工ソリューションを用いてつくられた数多くの部品は、皆さまが普段何気なく目にしているものに使われています。今回は、オフィスで生きるアマダの技術をご紹介します。

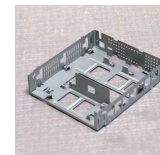
**エレベーター**  
人に乗せる「かご」の壁や扉、制御盤、動力の部分など、ほとんどの部材が板金加工やプレス加工されています。使われる建物により仕様が異なり、変種変量生産への対応が求められます。



**オフィス複合機**  
内部の金属部品のほとんどが板金加工されています。紙が途中で引っかからないように、部材の金属を切断したり穴をあけたりする際に発生するバリを抑制する技術が不可欠です。



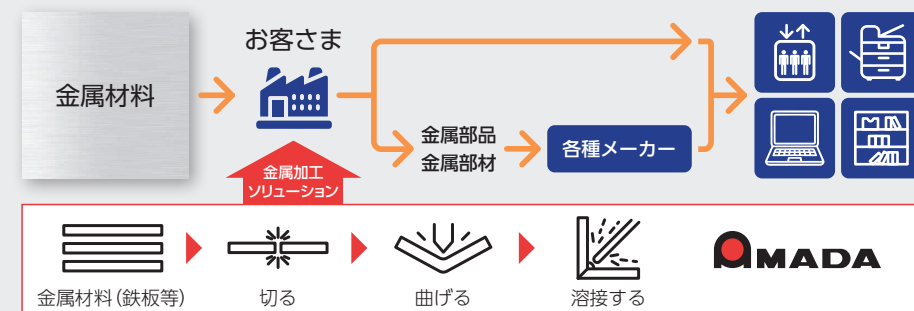
**パソコン**  
内部には金属部品がたくさん入っており、これらのほとんどが板金加工やプレス加工されています。製品の小型化・軽量化とともに、部品加工も高精度化が必要になってきています。



**スチール家具**  
ロッカーやキャビネット、机などのほとんどが板金加工されています。スチール家具を組み立てるためには、引き出し・棚板などにすき間やゆがみのない正確な加工が必要です。



モノづくりを支えるアマダの技術



当社WEBサイトにて、様々なところで活用されるアマダの技術を紹介するコンテンツ「暮らしの中のアマダグループ」を掲載しています。ぜひご覧ください。



[https://www.amada.co.jp/ja/ir/individual\\_investor/life/](https://www.amada.co.jp/ja/ir/individual_investor/life/)

### これまでのご経験についてお聞かせください

**A** 前職のオリンパス株式会社は、日系の医療機器メーカーで売上、営業利益ともNo.1の実績を持つ会社ですが、2011年に不祥事(有価証券報告書虚偽記載と経営陣の総辞職)により存続の危機に見舞われました。そのような状況で経営を引き継ぎ、7年間にわたり社長として会社の立て直しに尽力しました。肥大化したノンコア事業会社の整理と医療事業を中心とした事業基盤の強化、財務体質の改善、コーポレートガバナンスの強化など、全社一丸となった取り組みで会社を復活させることができました。

また、オリンパスは売上の約8割が海外であることから、会社の構造やガバナンス、人事制度などもグローバル化を進めました。これらの経験を、これから海外事業の成長を加速させ、さらなる企業価値向上を目指す当社でも活かせればと考えています。



#### プロフィール

1982年にオリンパス光学工業株式会社(現 オリンパス株式会社)に入社し、内視鏡の技術者として従事。その後、医療関連事業子会社の開発本部長、マーケティング本部長、取締役を経て不祥事発生直後の2012年にオリンパスの社長に就任。経営再建を果たし、2019年に社長退任。2023年6月から当社の社外取締役に務める。

### 当社のガバナンス体制で課題に感じていることはありますか

**A** 海外事業の成長を加速させるには、売上を伸ばすための戦略的施策や営業活動のみならず、それを支える機能や海外の会社を統率する仕組みの整備が必要です。また、競争相手は海外メーカーになりますから、それらの会社に伍する力やスピードが必要になります。そのために必要な会社の構造や仕組み、運用とこれらを支えるガバナンスを強化する必要があると思います。

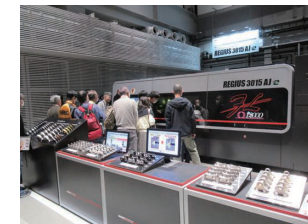
### 社外取締役としてどのように役割を果たしていきたいですか

**A** 経営の監督機能としての役割・責任はもちろんですが、当社をどうしたら良くていけるかという視点で課題をとらえ、これまでの経験を基に指摘やアドバイスができれば良いと思っています。お客さまの声を大切に、それを製品やサービスに活かして価値創造につなげることで、そして、サポートいただく株主の皆さまの声に耳を傾けることが経営の基本ですから、これらに即した姿勢で臨みたいと思います。

### 株主さま向け施設見学会のご案内

昨年2月にオープンしました最新鋭のマシンの展示および加工・検証を行う「アマダ・グローバルイノベーションセンター (AGIC)」とアマダがお客さまとともに歩んできた金属加工の歴史が詰まった「アマダ記念会館」の見学会に抽選で40名様をご招待いたします。

**日 時** 2025年3月1日(土) 13:30~16:00(予定)  
**見 学 場 所** AGICおよびアマダ記念会館(当社伊勢原事業所内)  
**集 合・解 散 場 所** アマダフォーラム(小田急線「愛甲石田駅」下車、徒歩10分)  
 ※現地集合、現地解散となります。  
**対 象 者** 2024年9月末現在、当社株式100株以上保有の株主さま  
 ※株主さまご本人および同伴者さま1名(小学生以上)のご参加が可能です。  
 ご応募の際に同伴者の有無をお知らせください。  
**応 募 切 期** 2024年12月25日(水)  
**参 加 費** 無料 ※ご自宅から集合場所までの交通費等は株主さまのご負担とさせていただきます。  
**応 募 方 法** 応募フォームよりご応募ください。ご応募には株主番号の入力が必要となります。株主番号は、同封の「配当金計算書」または「配当金領収証」に記載されています。ご希望者多数の場合は抽選となります。抽選結果は1月下旬ご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。当選者さまのみへのご連絡とさせていただきますのでご了承ください。  
 ※電話、郵送等での申込みは受け付けておりませんのでご了承ください。



AGIC



アマダ記念会館

応募フォーム  
QRコード



<https://forms.gle/FrUDtbQV5LcjHGfT8>

#### ご注意事項

※やむを得ない事情により、イベントの日時の変更、または中止とさせていただく場合がございます。その際はご登録いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。  
 ※見学コースは徒歩でご移動いただけます。所要時間は1時間半程度です。段差もございますのであらかじめご了承ください。

### IRサイトをリニューアル

本年7月にIRサイトをリニューアルしました。当社に馴染みのない株主さまにも分かりやすくお伝えするべく、アマダグループのあゆみや強み、暮らしの中に息づくアマダの技術などをご紹介します。また、過去に開催した個人投資家向け説明会の動画のほか長期ビジョン・中期経営計画等、当社の事業戦略を詳しくご覧いただけます。適時開示情報やお知らせをタイムリーに受け取ることができるIRメール配信サービスも行っておりますので、ぜひご登録ください。



<https://www.amada.co.jp/ja/ir/>



IRメール配信サービス

当社の適時開示情報やお知らせをタイムリーにお届けします。ぜひご登録ください。



スマートフォンでもご登録いただけます。ご登録はこちら→



山梨社長に聞く  
株主さま



株主さまアンケートやお問い合わせにてお寄せいただく様々なご質問やご意見に、当社社長の山梨 貴昭がお答えします。



Q 個人投資家向け説明会の開催を希望します。

A 不定期に開催し説明資料等をIRサイトで公開しております。直近では2024年12月27日(金)にマネックス証券、2025年1月17日(金)にSBI証券で個人投資家向けオンライン説明会の開催を予定しています。事業内容や今後の戦略について、IR担当者をご説明しますので、個人株主の皆さまのご理解を深めていただく場になれば幸いです。

Q スポーツ選手のサポートやスポーツ大会の協賛をしてほしいです。

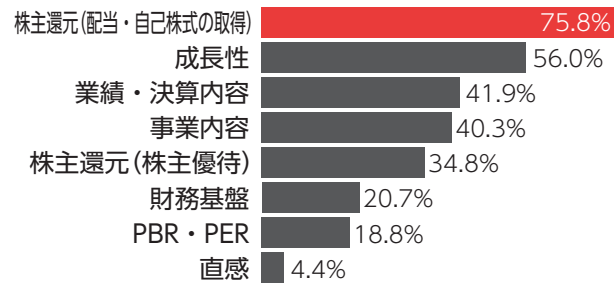
A 当社の米国拠点AMADA AMERICA, INCは本年、NTT・インディカー・シリーズに参戦している米国のチーム「レイホール・レターマン・ラニガン・レーシング」とスポンサー契約を締結し、同チームからインディ500に参戦する佐藤琢磨選手のマシンのプライマリースポンサーとなりました。米国最大のモータースポーツであるインディ500は環境負荷低減にも取り組んでおり、パートナーシップを通してサステナブルな活動の支援にもつなげてまいります。



株主さまアンケートのご報告

6月発行の「株主・投資家の皆さまへ」の株主さまアンケートにおきまして844名の株主の皆さまよりご回答をお寄せいただきました。その一部をご紹介します。

Q. 株式を購入する際、重要視していることは何ですか。(上位8位)



成長投資に加え、株主還元の充実にも努めてまいります。

Q. 当社のIR活動についてのメッセージ

- 前回の施設見学会は落選してしまったので、またぜひ開催して欲しいです。(30代男性)他多数
- 株主アンケートの声をIR活動に活かすのはとても良い取り組みだと思えます。(40代女性)
- 働きやすい環境づくりと堅実経営をお願いします。(60代女性)
- 知名度向上のための施策をお願いします。(60代男性)

たくさんのお声をいただきありがとうございます。株主の皆さまのご要望にお応えし、本年も株主さま向け施設見学会を開催します。ご応募お待ちしております。

コーポレートデータ (2024年9月30日現在)

■ 会社概要

商号 株式会社アマダ (AMADA CO., LTD.)  
 創業 1946年9月10日  
 資本金 54,768百万円  
 従業員数 連結 8,997名

■ 役員一覧

取締役

代表取締役 会長	磯部 任
代表取締役 社長執行役員	山梨 貴昭
取締役 専務執行役員	田所 雅彦
取締役 専務執行役員	山本 浩司
取締役 常務執行役員	三輪 和彦
社外取締役	笹 宏行
社外取締役	千野 俊猛
社外取締役	三好 秀和
社外取締役	小部 春美

監査役

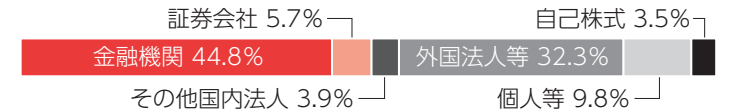
常勤監査役	柴田 耕太郎
常勤監査役	藤本 隆
社外監査役	西浦 清二
社外監査役	望月 晶子

■ 株式情報

発行済株式の総数 341,115,217株  
 (自己株式 11,833,259株を含む)

株主数 53,849名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率*(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	69,031	21.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	44,500	13.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	10,896	3.3
公益財団法人天田財団	9,936	3.0
JPモルガン証券株式会社	7,089	2.2
MSIP CLIENT SECURITIES	6,725	2.0
株式会社かんぽ生命保険	6,042	1.8
日本生命保険相互会社	5,894	1.8
野村信託銀行株式会社(投信口)	5,182	1.6
JP MORGAN CHASE BANK 385781	4,503	1.4

\*出資比率は自己株式を除いて計算しています。

株主さまアンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

ご回答いただいた方の中から抽選でQUOカード(1,000円)を進呈させていただきます。

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきます。WEBアンケートを実施いたします。

● アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約1カ月間(2025年1月10日まで)です。

→パソコンから  
<https://q.srdb.jp/>

→スマートフォン・携帯電話から  
 右のQRコードを読み取ることで直接アンケート画面へアクセスできます。

→メールから  
[enq@q.srdb.jp](mailto:enq@q.srdb.jp)へ空メールを無記入でご送信いただき、自動返送されるアンケート画面へURLからアクセスいただけます。

【ネットでのアンケート】は宝印刷株式会社が運営し、ご回答いただいた内容は宝印刷株式会社が管理いたします。宝印刷株式会社については<https://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。\*アンケートに関するお問い合わせ先:kabu@takara-print.co.jp \*平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答となります。【個人情報の取り扱いに関して】お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、個人情報に関する取り扱いに関しての詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

## 株主総会資料の電子提供制度について

会社法の改正により、株主総会資料が原則ウェブ化されました。

2023年3月以降に開催される株主総会から、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主様に対して当該ウェブサイトのアクセスURL等を書面により通知する株主総会資料の電子提供制度が開始されました。

インターネットのご利用が難しい株主様は、「書面交付請求」が可能です。

### Q 「書面交付請求」とは？

A インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には株主総会資料を書面でお送りします。なお、書面交付請求を行わなくても、株主総会資料のアクセスURL等を記載した通知は必ず書面にて送られます。

### Q 「書面交付請求」の受付期限は？

A 当社の株主総会の基準日である2025年3月31日までに手続きいただくことにより、2025年の株主総会資料を書面で受け取ることができます。詳しくは株主メモのお問い合わせ先にご照会ください。

### 単元未満株式をお持ちですか？

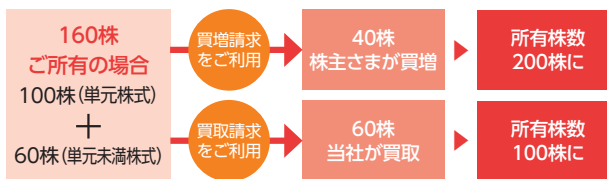
単元未満株式では  
行えないこと

- ◎市場での売買ができません。
- ◎議決権の行使ができません。\*

\* 1単元に満たない株式のみをご所有の株主さまの場合

当社では単元未満株式(1~99株)をご所有の株主さまには、単元株式に不足する数の当社株式を買い増して、単元株式にさせていただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」のいずれかをご利用いただけます。

#### ■ 買取・買増制度の例



ご連絡先：みずほ信託銀行 証券代行部(フリーダイヤル)0120-288-324

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 及び特別口座 の口座管理機関	〒100-8241 東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 <a href="https://www.amada.co.jp/ja/ir/stock_info/koukouku/">https://www.amada.co.jp/ja/ir/stock_info/koukouku/</a> 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告 ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

#### 株式事務のお問い合わせ先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
ホームページ：<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>  
☎0120-288-324  
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)



#### 株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ

お取引の証券会社または下記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。  
電子提供制度専用ダイヤル ☎0120-524-324  
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

株式会社アマダ

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



森林に配慮して適切に管理された  
森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した当社のベジタブル  
オイルインキを使用しています。